

科目名	現代経済入門	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			経済学科 ■必修 □選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Introductory of Modern Economy	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	のぐち ひでゆき	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	野口 秀行	修得単位	2単位
授業のテーマ	日本経済の特徴とその問題点を、世界経済と関連付けて学習する。		
到達目標	各受講者には日本経済の全体像と、個別専門領域に取り組むための基礎事項を修得して欲しい。		
授業概要	戦後の日本経済の変遷を学びつつ、第4次産業に向けた経済システムの大変革を学びます。		
授業計画			
第1回	日本の戦後復興と経済成長①：経済成長は目に見えるのか？		
第2回	日本の戦後復興と経済成長②：経済成長に対する物価変動の影響とは？		
第3回	日本の戦後復興と経済成長③：経済成長によって何が得られるのか？		
第4回	日本の戦後復興と経済成長④：戦後復興期、日本は何を優先したのか？		
第5回	日本の戦後復興と経済成長⑤：高度経済成長を実現させた要因は何か？デニソンの見方とは？		
第6回	日本の戦後復興と経済成長⑥：石油危機からバブル経済の崩壊まで、低成長時代には何があったのか？		
第7回	「失われた20年」と経済のグローバル化①：3つの経済体制と資本主義の台頭とは？		
第8回	「失われた20年」と経済のグローバル化②：アングロサクソン型とライン型資本主義の違いとは？		
第9回	「失われた20年」と経済のグローバル化③：日本の民間部門の特徴とは？（雇用、企業統治、金融）		
第10回	「失われた20年」と経済のグローバル化④：グローバル化による日本経済の変化とは？（生産部門）		
第11回	「失われた20年」と経済のグローバル化⑤：グローバル化による日本経済の変化とは？（企業統治部門）		
第12回	「失われた20年」と経済のグローバル化⑥：グローバル化による日本経済の変化とは？（雇用・労働面）		
第13回	「失われた20年」と経済のグローバル化⑦：グローバル化による日本経済の変化とは？（金融部門）		
第14回	我が国の経済問題①：少子高齢化と格差社会の問題。地方創生と経済学の視点。		
第15回	我が国の経済問題②：自然環境の変化と食糧問題。持続可能な社会に向けた経済学の役割。		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	予習復習の徹底、事前配布のプリントに目を通しておくこと		
履修条件 受講のルール	なし。		
テキスト	プリント配布		
参考文献・資料	追って連絡します		
成績評価の方法	期中のレポートおよび期末試験の結果を総合して判断します。 出席回数が規定に満たなかった場合、その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。		
オフィスアワー	火曜日午後及び水曜日全日		
成績評価基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 平成27年度（2015）以前に入学した学生 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）		

学生への  
メッセージ

日本経済についての好奇心を喚起し、さらに詳しく学びたいような授業としたい。